

「ひらがなに興味を持ち始めたら、言葉遊びを楽しもう！」

3歳くらいになると、一緒に絵本をよんでいると「これ、なんて書いてあるの？」とひらがなに興味を持ち始めるお子さまも出てきます。

「楽しいな」と思っている時期こそがチャンス！ひらがな遊びをする良いタイミングです。

興味を持ったからと、「文字を書く」事はまだまだ先です。

読んだり、話したりすることは遊びが効果的です。大事な事は、「勉強する」ではなく「遊ぶ」事。

最初は、長い文章を読んだりするのではなく、一つの「ことば」を意識出来る事が大切です。

以前、しりとりあそびをご紹介しましたが、さらに進化して例えば「とけい→けいさんさんすう・・・」など語尾の2文字を使う「2文字しりとり」などがあります。

言葉をたくさん知る事が出来、頭も使うので文字を書いてやるとわかりやすいですよ。

また、「逆さことば遊び」は「いるか→かるい」「さか→かさ」「くるみ→みるく」など意味のわからない言葉やまったく違った意味の言葉などが出てきて、いろいろな言葉を知る事が出来ます。

言葉にしなから、文字の形もイメージするので、音と形の両方でひらがなを覚えていく事が出来ます。

はじめは、2文字くらいの短い言葉から、少しずつ文字数を増やしていくと良いですよ。

紙に文字を書いて遊ぶと、読む力も一緒に育ってきます。

遊びながらひらがなに触れていけたら、きっと無理なく覚えていけるはず。

「この遊び、
おもしろい！」とお子さまが思えると、グングン興味を引き出せると思いますよ。